

「郊外65人村」

●郊外，サバービアって？ 「郊外という現代ニッポンの普遍的な風景」

バイパス沿いの駐車場付ショッピング+飲食店，巨大ネオンや看板，人一人っ子歩かない歩道，賃貸アパートや新興住宅地と隣り合う昔ながらの農地や農家，．全く異なるコンテキストの用途やボリュームが虫食い状のパッチワークとなり，モータリゼーション主体で部分と部分がつながっている．シークエンスとしてのストーリーや風景のダイナミズム，風景は分断され関係性が結ばれていない—それが現代ニッポンの普遍的な風景といえる．

今回の設計課題のバックグラウンドとして，こうした現代ニッポン都市をグラデーション状に取り囲む「郊外，サバービア」を採り上げ，フィールドワークの中から分析し，その可能性をデザインする．

●今，考えるライフスタイルの提案 「私，あなた，何か〇〇して暮らしたい？」

鶏舎のプロイラーのように画一的な（建設産業と建築基準法の合理性に主に従った）片廊下型マンションや住宅メーカーの一戸建てに「我が家」といって住み，一旦部屋の扉を閉めれば個が個とネットでつながるインターナショナルでバーチャルな広大世界，．確かに，それが21世紀の私達の現実なのかもしれない．TVや携帯モニターの発する均質な情報をなんとなく間に受け，欲望を掻き立てられ，次々と消費する日々...うーん，現代に生きる私達の自由ってこんなものなんだろうか？

自分たちのライフスタイルを探す旅に出よう．

それをテーマにひとつ「現代の村，ヴィレッジ」を自由に構想してみよう．

●集まって住む？ 「現代の村，Police：毎日が face to face」

古代ギリシャの都市国家policeでは，200人から300人の住民全員が円形劇場や競技場に集まって，スポーツ観戦したり会議する face to faceのコミュニケーションが成り立つ人口だったから民主主義が生まれ，それをキープできたという説がある．「face to faceのコミュニケーション」が可能であることと「匿名，anonymousのコミュニケーション」しかできないコミュニティ=人の集まりとの『相違』をちょっと意識してみて欲しい．さて，ライフスタイルや空間に違いが現れるだろうか？

本課題の65人村は，ほぼ建築デザイン学科1学年分の人数に相当する．日々みなと一緒に行動している人数であり全体スケールが把握しやすいと思う．家族の形式は自由設定だが，カップルなら約33家族，4人家族なら約16家族に相当し，想像を絶するような数ではない．

前掲のプロイラー鶏舎のような産業的に合理的で画一的な「片廊下型マンション」や「住宅メーカーの一戸建てが並ぶ団地」以外に，楽しく集まって住む場所や空間の新しい形式ってないのだろうか？

みんながワクワクしながら集まって住める，新しいカタチをイメージしてみて欲しい．

●作業とアウトプット — ふたつのフェイズ

1. フィールドワークと視覚的な分析 ← アウトプット* A3のBOOK 《中間発表》

フィールドワークや調査したプロセス1項目毎に，A3×1枚として地図やイラスト，ダイアグラムを用いて視覚的に分析やテーマ発見をまとめる．中間では，このBOOKを紙芝居のように使って発表する．

2. デザイン・デヴェロップメント（D.D.） ← アウトプット* A1×4枚+模型

フィールドワークからピックアップした郊外の敷地（1,000～2,000㎡程度）を対象に，「65人で住む村」のライフスタイルと空間を企画+デザイン提案する．対象敷地は，全員がそれぞれ異なるよりもある程度グルーピングして数箇所に集約した方が，相乗効果が生まれD.D.が展開しやすい． 《最終発表》

○対象敷地

名古屋市街地郊外の「名古屋ならではのサバービア」「今昔のコンテクストが折り重なっている不思議な風景」「虫食い状パッチワーク」「水景と都市景、あるいは工業景の混在」など、各自が『これぞ郊外』と考える場所を調査、対象敷地を選択する。広さの目安は、1,000～2,000㎡程度。周辺道路や公共施設、ランドマーク、緑水系、工商業系などをバースビュー的マクロな視点とヒューマンスケールなアイレベルの双方から観察し、同時にネーミングする。

（ツール）縮尺の地図、デジタルカメラ、筆記用具、メジャー等、最大の武器は観察眼。

必要があれば、地域の人や行政窓口でのヒアリング、ネット上でのリサーチを行う。

○「65人村」のライフスタイルと家族構成を考える＝ヴィレッジ全体のテーマ

これなくして、ゾーニングやプランニング、具体的な空間デザインは先に進まない。現代的かつ近未来に想定し得る、その敷地の特性を生かした独自のテーマを構想する。

（ハイブリッド・テーマ）個人的な関心やマニアックな興味の領域と、現代的社会的な現象や近未来への予測など、双方を少しづつミックスするような視点のスイッチを交互に行いながら観察し、分析する。あまりに個人的独善的すぎ、あるいは一般的すぎ（エコ、ヴィレッジなど）は新しさや発見は薄い。

○ヴィレッジのテーマを具体的に体現する、特徴的な場所、場のしくみを考える

カタチそのものが一見して「ヴィレッジのテーマ」を具現化する特徴的な形態、空間の仕組みを本質的に備えていること。

（マニピュレーション的スタディ）

頭だけで考えていても、思いがけないカタチは生まれない。マニ（手）で考えよう。スケッチやスタディ模型を交互にメディアミックスして、形態と思考を深める。

○中間提出物

- ・A3、フォーマットのBOOK、視覚的にフィールドワークの分析やテーマ発見をまとめたもの。紙芝居のように、発表の展開に沿って用いるよう工夫する。

○最終提出物

【A1 × 4枚、着彩】

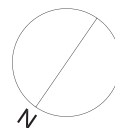
- ・ヴィレッジのテーマとネーム
- ・コンセプト：テキスト＋ダイアグラム
- ・配置図：1 / 100、周辺道路、方位、植栽等のランドスケープ・デザインを表現する
- ・各階平面図：1 / 100、主な室名、家具を表現する
- ・立面図、2面以上：1 / 100、陰影を表現する
- ・断面図、2面以上：1 / 100、主な室名、家具を表現する
- ・パースまたは模型写真 × 5枚以上：俯瞰、外観、特徴的な場所など

【模型 1 / 100】

- ・白模型ではなくデザイン・コンセプトを分かりやすく表現したもの
- ・周辺道路、方位、植栽等のランドスケープ・デザインを表現する

●スケジュール

- ・12月10日：グループ分け、課題出題
- ・1月7日：中間発表 / 1人3分発表程度＋質疑
- ・1月21日：最終発表：1人5分発表程度＋質疑



配置図兼1F平面図

畑

第1期
公営住宅用地 41.7㎡
建築費: 1196万、約29%
管理費: 約1066円/戸
2階: 約1066円/戸

第2期
公営住宅用地 30.7㎡
建築費: 116万、約20%
管理費: 約1066円/戸
2階: 約1066円/戸

第3期
公営住宅用地 30.7㎡
建築費: 120万、約21%
管理費: 約1066円/戸
2階: 約1066円/戸

